

令和5年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株)北海道熱供給公社	所管課	環) 環境政策課		
基本財産	3,313,658千円	記入者	担当	山田	電話 011-211-2877
設立年月日	昭和43年(1968年)12月23日	本市出資額	600,000千円 (出資割合 18.1%)		
設立・出資目的	設立当初の目的であった札幌都心部の大気汚染防止のほか、当該団体の安定した熱供給が、環境負荷の低減、未利用エネルギーの推進など地球温暖化防止・都心の低炭素化、防災等に寄与するものであることから、今後も市政と連携するため出資を維持している。	出資年月日	昭和43年(1968年)12月23日		
代表者	代表取締役社長(常勤) 近藤 清隆 (市以外)	沿革	昭和43年	地域暖房計画を具体化するために設立	
主な出資者	① 北海道瓦斯	昭和46年	都心地区熱供給開始		
	② 札幌市	昭和47年	光星地区熱供給開始		
団体所在地	〒060-0907 札幌市東区北7条東2丁目1-1北ガスグループ本社ビル3階 電話 011-741-1311				

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 冷温水及び蒸気による熱供給事業 (6ページ)	②
エネルギー消費密度が高い都心部で、高効率設備を持つ複数の生産拠点(エネルギーセンター)において温冷熱を供給することで、都市環境の向上や都市防災に資するまちづくりができる。	
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合	79.8% (主要事業支出合計 5,020,944千円 ÷ 総支出 6,294,640千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	省エネ効果が高い熱の面的供給によって、都市環境の向上とエネルギーの効率的な利用が実践されている。また、木質バイオマス燃料を最大限使用し、都心における脱炭素化に貢献している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	都心における省エネルギー促進やエネルギー有効利用による脱炭素化を推進していくためには、更なる熱供給区域の拡大や未利用エネルギー活用の取組が必要である。

3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期	
役員					8	10歳代	2	40歳代	36	取締役	1年
常勤取締役			1	2		20歳代	15	50歳代	20	監査役	4年
常勤監査役						30歳代	15	60歳代	7	代表権のある役員 の 就任年月	
非常勤取締役			4			平均年齢		43.7	歳	取締役	2020.4
非常勤監査役			1							監査役	
職員					95				職員総数の推移(人)		
常勤管理職			15			R04.4.1時点	85				
非常勤職員											

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R3年度決算	R4年度決算	(経常収入比)	(前年比)		
財務状況	経常収入内訳	5,092,622	6,417,204	(100.0%)	(+1,324,582)		
	経常収入 (a+f)	5,092,622	6,417,204				
	損益計算書	営業	売上高 (a)	5,004,685	6,294,640	(+1,289,955)	
			営業費用 (b)	4,850,827	6,172,510	(+1,321,683)	
			うち販売費・一般管理費 (c)	762,572	850,048	(13.2%)	(+87,476)
			うち人件費 (d)	567,650	602,674	(9.4%)	(+35,024)
			営業利益 (e)	153,858	122,130	(▲ 31,728)	
	営業外	営業外収益 (f)	87,937	122,564	(+34,627)		
	当期純利益 (g)	146,748	143,933	(▲ 2,815)			
	貸借対照表	資産 (h)	12,311,521	12,935,443	(+623,922)		
流動資産 (i)		929,195	948,248	(+19,053)			
固定資産 (j)		11,382,326	11,987,195	(+604,869)			
負債 (k)		6,232,820	6,712,809	(+479,989)			
流動負債 (l)		5,352,090	5,945,026	(+592,936)			
固定負債 (m)		880,730	767,783	(▲ 112,947)			
純資産 (n)		6,078,701	6,222,634	(+143,933)			
資本金 (o)		3,025,250	3,025,250	(0)			
借入金残高 (p)	463,493	346,730	(▲ 116,763)				

R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	LNG価格高騰に伴う都心地域燃料調整単価の影響という増収要因により、熱供給事業営業収益は前期比1,147,058千円(29.8%)増加の4,988,350千円、電力事業や建設事業を含む熱供給事業外営業収益は、北海道瓦斯株式会社から新たに受託した新さっぽろエネルギーセンター運転監視・点検保守業務等により、前期比142,896千円(12.2%)増加の1,306,289千円となり、営業収益の合計は、前期比1,289,954千円(25.7%)増加の6,294,640千円であった。
b	熱の販売量増加による燃料使用量の増加、LNG価格高騰等の影響などにより燃料費が大きく増加し、さらに熱製造に係る電力料などの変動費も増加した影響等から、営業費用合計は前期比1,321,682千円(27.2%)増加の6,172,510千円となった。
h k	資産：固定資産…製造設備・供給設備の新規取得による増、流動資産…主に預掛金の増（昨年度この燃料費調整単価変動による増） 負債：流動負債…関係会社短期債務の増、設備資金の北ガスグループCMS（キャッシュマネジメントシステム）からの調達による増

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	27,562	(+27,562)
市委託料	85	0	(▲ 85)
市業務委託料	85	0	(▲ 85)
うち随意契約	85	0	(▲ 85)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	3,053,451	3,197,384	(+143,933)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	49.4%	48.1%	(▲1.3%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	17.4%	16.0%	(▲1.4%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	187.2%	192.6%	(+5.4%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	3.8%	2.7%	(▲1.1%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	62,872千円	75,497千円	(+12,625千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	11.3%	9.6%	(▲1.8%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	9,414千円	10,001千円	(+586千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	15.2%	13.5%	(▲1.7%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.4%	(+0.4%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.4%	(+0.4%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

健全性の評価

非常に高い 高い 概ね健全 やや低い 低い

理由

- ・健全性：流動比率が低いのは、親会社の北ガスグループからの短期債務(流動負債に計上)にて資金を調達しているためであり、前年度と同程度の純利益を確保できている。設備資金の返済により、借入金依存度が低下したため健全性は前年に比べ高くなった。
- ・生産性：札幌都心部未利用熱有効活用に向けた既成市街地での温水導管整備工事における冷温水供給管設備取得に伴う減価償却費の増及び点検業務の外部委託による委託費の増管理費の増により、職員一人当りの管理費が増えているが、職員一人当りの経常収益は大きく増加しており、前年度に比べて生産性は高くなったと言える。
- ・自立性：市からの収入に依存していないことから、自立性は高いと言える。

(注1)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料(随意契約分)＋市指定管理費(非公募分)＋市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資の継続						
①	市出資金	目標		600,000千円	600,000千円	600,000千円
		実績	600,000千円 (18.1%)	600,000千円	600,000千円	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(2)人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○本市幹部の役員枠を継続する						
①	市派遣職員数	目標		0人	0人	0人
		実績	0人	0人	0人	
		評価		達成	達成	
②	本市からの取締役就任数 (非常勤)	目標		1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○環境負荷の少ない都市を構築するための地域熱供給基盤活用						
①	都心部接続件数	目標		89件	89件以上	89件以上
		実績	89件	87件	90件	
		評価		未達成	達成	
②	木質燃料の使用量	目標		24500 t	24500 t	24500 t
		実績	24324 t	25302 t	26496 t	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○収益の確保						
①	営業利益	目標		144百万円	191百万円	212百万円
		実績	220百万円	205百万円	206百万円	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○法令等を遵守し不正・不祥事・事故の発生を未然に防ぐ体制の強化						
①	不正・不祥事・事故の発生件数	目標		0件	0件	0件
		実績	0件	0件	0件	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障がいのある方の雇用人数	目標		1人	1人	1人
		実績	0人	0人	0人	
		評価		未達成	未達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
課題としては認識しているが、現業中心（エネルギーセンターの運転管理等）の職場であるため雇用時の業務内容についての検討が必要。現在、Webを含めた各種説明会等に参加し対応可能な業務等についての情報収集を図っている。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	https://www.hokunetsu.co.jp/			
Eメールアドレス	hnc-ml-hokunetsu-info@kitagas.com			
【経営状況等】				
<input type="checkbox"/> 定款	<input type="checkbox"/> 役員名簿	<input type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書	<input type="checkbox"/> 予算書
<input type="checkbox"/> 事業報告書	<input type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（	）			
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：	パンフレットを発行し、本社及び各エネルギーセンターに備え付け			

※特記ない限り、本評価シート情報は令和5年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 冷温水及び蒸気による熱供給事業

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境都市推進部環境政策課	担当： 山田	電話： 211-2877
(1)事業内容	(1)冷温水及び蒸気による熱供給事業事業 ・熱エネルギーを供給エリア内の建物に導管を通じ安定的に供給する。 供給エリアは、札幌市中央区都心部と札幌市東区光星地域の2エリアがあり、供給拠点として①中央エネルギーセンター、②札幌駅南口エネルギーセンター、③道庁南エネルギーセンター、④赤れんが前エネルギーセンター、⑤創世エネルギーセンター、⑥光星エネルギーセンター（東区）が存在する。 【市の関連事業名】 気候変動対策推進事業 都心エネルギープラン推進事業		市補助金 **** 市交付金 **** 市委託料（一般競争入札） ****
(2)事業目的	エネルギー消費密度が高い都心部において、高効率設備を持つ複数の生産拠点（エネルギーセンター）において冷温熱を供給することで、都市環境の向上や災害への強靱化につなげていく。		
(3)事業開始	昭和46年(1971年)10月1日（供給開始）		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		3,841,292 (75.4 %)	4,988,350 (77.7 %)	(+1,147,058)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	3,841,292	4,988,350	(+1,147,058)	
	その他収入	0	0	(0)	
費用（支出）	費用（支出）	3,956,224	5,020,944	(+1,064,720)	
	事業費	3,796,128	4,860,345	(+1,064,217)	
	管理費等	160,096	160,599	(+503)	
収支差	▲ 114,932	▲ 32,594	(+82,338)		
収支比率	97.09%	99.35%	(+2.26%)		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	木質燃料の使用量（t）	25,302	25,500	26,497	24,300
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	熱製造に伴うCO2排出量（t-CO2）	46,504	46,053	46,794	49,495
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 当該団体の事業は、災害停電時に備えたエネルギーネットワークの強靱化、省エネルギーによる資源の節約等の大きな社会的効果がある。また、木質バイオマス燃料を最大限使用し、都心における低炭素化に貢献している。今後もCO2排出量削減の取組を推進し、地域熱供給の優位性のもと、供給区域内の需要家（接続先）を拡大することで、より一層事業の有効性を高めることができる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 収支状況は良好であるが、天候や燃料費価格の影響を受けやすいことから、長期的な視点に立った事業展開とコスト削減等による経営基盤の強化を図っていくことが必要である。

貸 借 対 照 表

(2023年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	11,987,195	固定負債	767,783
熱供給事業固定資産	11,452,357	長期借入金	236,205
有形固定資産	11,432,864	退職給付引当金	148,248
製造設備	7,155,481	修繕引当金	184,499
供給設備	4,266,474	資産除去債務	187,200
業務設備	10,908	その他固定負債	11,630
無形固定資産	19,492	流動負債	5,945,026
その他無形固定資産	19,492	1年以内に期限到来の固定負債	110,524
熱供給事業外固定資産	79,748	買掛金	14,757
建設仮勘定	201,925	未払金	514,282
投資その他の資産	253,164	未払費用	29,101
長期投資	109,918	未払法人税等	64,353
長期前払費用	11	預り金	11,602
繰延税金資産	143,234	関係会社短期債務	5,132,895
流動資産	948,248	賞与引当金	46,318
現金及び預金	174,950	諸前受金	21,190
受取手形	421	負債合計	6,712,809
売掛金	504,949	株主資本	
諸未収入金	172,442	資本金	3,025,250
貯蔵品	3,806	資本剰余金	288,408
前払費用	60,482	資本準備金	288,408
関係会社短期債権	31,681	利益剰余金	2,908,976
その他流動資産	180	利益準備金	6,000
貸倒引当金	△ 664	その他利益剰余金	2,902,976
		別途積立金	1,531,265
		繰越利益剰余金	1,371,710
		純資産合計	6,222,634
資産合計	12,935,443	負債純資産合計	12,935,443

損 益 計 算 書

〔 2022年4月 1 日から
2023年3月31日まで 〕

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
熱供給事業営業費用	5,020,945	熱供給事業営業収益	4,988,350
製 造 費	4,184,507	温 熱 料	3,446,282
供給販売費	675,838	冷 熱 料	1,464,501
一般管理費	160,599	給 湯 料	55,550
		営業雑収益	22,016
熱供給事業外営業費用	1,151,564	熱供給事業外営業収益	1,306,289
営 業 利 益	122,129		
営業外費用	37,880	営業外収益	122,564
支払利息	26,146	受取利息	1
雑支出	11,734	雑収入	122,562
経 常 利 益	206,813		
税引前当期純利益金額	206,813		
法人税、住民税及び事業税	63,293		
法人税等調整額	△412		
当 期 純 利 益	143,932		